

海星だより

第11号 平成26年 2月

広島県立大崎海星高等学校

<http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/>

○県内企業訪問（12月24日）

本校2学年の生徒全員が県内企業訪問を行いました。これはステップアップハイスクール支援事業の一環であり、「生徒の主体的な進路選択能力・学習意欲の向上」を目的とした取組です。当日は、他校の生徒とともに「株式会社サタケ」と「JICA中国」を訪問しました。「株式会社サタケ」では、工場見学をし、講話を聴きました。「JICA中国」では、国同士の貿易を想定したグループワークを行いました。生徒は他校の生徒と交流しながら、進路に対する意識を高めました。



講話の様子

グループワーク

○センター試験（1月18日、19日）

県立広島大学三原キャンパスで行われた、本年度のセンター試験を、本校3年生6名が受験しました。生徒は前日から移動し、二日間のセンター試験に万全の状態で見事に挑みました。各々の進路を実現するべく、全力を尽くしました。今後、センター試験の結果を受け、2月下旬から行われる国公立大学の一般入試に挑みます。



○社会人講話（1月22日）

清光寺住職である松浦真英様をお招きし、「いま、伝えたいこと」と題して、講話をしていただきました。この無縁社会で「協働」や「地域力」といった目に見えない絆がいかに大切なものかということ、この大崎上島の現状を振り返りつつ話してくださいました。



○進路資料配布会（1月23日）

進路選択に向け、上級学校、特に中四国の国公立大学に対する見識を深め、興味・関心を高めることを目的に、1・2年生対象の進路資料配布会を行いました。生徒は机の上に並べられた上級学校に関する資料を自由に閲覧し、持ち帰りました。また、気になる学校に関して、教員やスタッフの方に積極的に質問し、自らの進路選択に役立てていました。



○高校生に対する就職ガイダンスに参加（1月25日）

2年生就職希望者5名が、広島市で行われた、厚生労働省主催の就職ガイダンスに参加しました。当日はグループワークや模擬面接などを行い、働くことに対する意欲・関心を高めるとともに、仕事や社会に対する理解を深めました。生徒は、来年度の就職試験に向けて順調なスタートを切りました。



○第3回進研記述模試（1月25日）

第3回進研記述模試を、1年生全員と2年生の希望者が受験しました。本校では、日々の学習内容の定着の確認と学習意欲の向上を目指し、今年度から1年生は全員模擬試験を受験しています。生徒は、早朝から夕方まで集中して模擬試験を受けていました。



1年

2年

○和太鼓部の生徒が小学生を指導（1月29日）

本校体育館で、和太鼓部の生徒が大崎小学校6年生の児童の皆さんを指導しました。はじめに、和太鼓部の生徒が模範演奏をし、その後少人数のグループに分かれて和太鼓の指導を行いました。最後は、練習したリズムを児童の皆さんに実際に演奏してもらいました。指導を受けた児童の皆さんからは、「高校生の先輩たちの指導がわかりやすかった」「楽しかった」等の感想をいただきました。



○部活動結果報告

卓球部 第59回広島県高等学校新人卓球大会【1月11日】

2年 鼻戸 莉菜 女子個人の部 出場

福山市体育館で行われた上記の大会に出場しました。1回戦で強豪広島商業高校の選手と対戦しました。生徒は健闘しましたが、2回戦進出はなりませんでしたが、来春の高校総体に向けて貴重な経験を積むことができました。